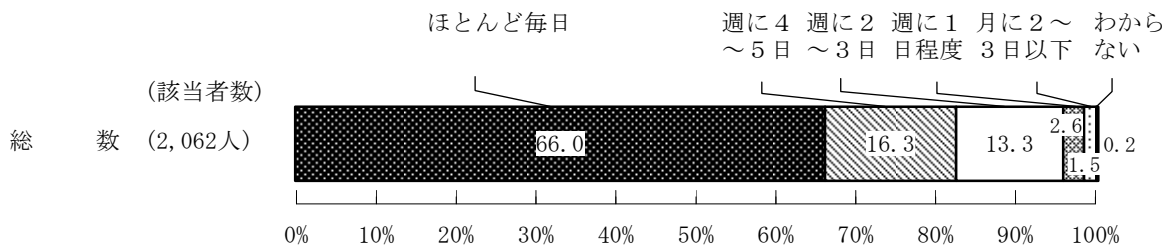


12 外出の状況

(1) 外出の頻度 (Q30)

外出の頻度 (散歩なども含む) についてみると、3人に2人が「ほとんど毎日」(66.0%)外出している。以下、「週に4～5日」が16.3%、「週に2～3日」が13.3%で続き、「週に1日程度」(2.6%)や「月に2～3日以下」(1.5%)はわずかである。

図 12 - 1 外出の頻度 (Q30)



性別にみると、男性は「ほとんど毎日」が7割を占め、女性に比べて高くなっている。年齢階級別にみると、「ほとんど毎日」は年齢が下がるほど、「週に1日程度」は年齢が上がるほど、割合が高くなっている。

健康状態別にみると、健康状態が良いほど「ほとんど毎日」の割合が高くなっており、良い人では4人に3人が「ほとんど毎日」外出している。

表 12 - 1 外出の頻度 (%)

	総数	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日程度	月に2～3日以下	わからない
【総数】	2062	66.0	16.3	13.3	2.6	1.5	0.2
【都市規模別】							
大都市	472	65.7	17.4	12.3	3.0	1.1	0.6
中都市	867	65.2	16.5	14.3	2.2	1.6	0.2
小都市	522	65.3	15.9	13.4	3.6	1.7	-
町村	201	71.6	14.4	11.4	1.0	1.5	-
【性別】							
男性	979	70.9	15.7	10.1	1.8	1.3	0.1
女性	1083	61.5	16.9	16.3	3.3	1.7	0.4
【年齢階級別】							
60～64歳	574	75.4	16.0	7.0	1.2	0.3	-
65～69歳	500	70.2	14.6	12.8	1.6	0.8	-
70～74歳	457	65.0	17.7	12.9	2.8	1.5	-
75～79歳	322	55.9	16.8	21.4	3.7	1.9	0.3
80～84歳	147	47.6	20.4	20.4	5.4	5.4	0.7
85歳以上	62	46.8	11.3	21.0	9.7	6.5	4.8
【家族形態別】							
単身世帯	237	59.1	16.0	19.0	4.2	1.7	-
夫婦二世帯	739	68.5	16.8	11.1	1.8	1.5	0.4
本人と子の世帯	548	66.4	15.9	13.1	2.7	1.8	-
本人と子と孫の世帯	209	58.4	15.8	19.6	4.3	1.4	0.5
その他	329	69.3	16.7	10.6	2.1	0.9	0.3
【健康状態別】							
良い	787	74.7	15.4	7.8	1.8	0.3	0.1
まあ良い	379	66.0	15.6	14.2	2.4	1.8	-
普通	533	65.9	19.1	13.3	0.8	0.8	0.2
あまり良くない	293	50.9	15.0	23.2	7.5	2.7	0.7
良くない	70	31.4	15.7	30.0	7.1	14.3	1.4
良好 (計)	1166	71.9	15.4	9.9	2.0	0.8	0.1
不良 (計)	363	47.1	15.2	24.5	7.4	5.0	0.8

(2) 徒歩又は自転車での外出

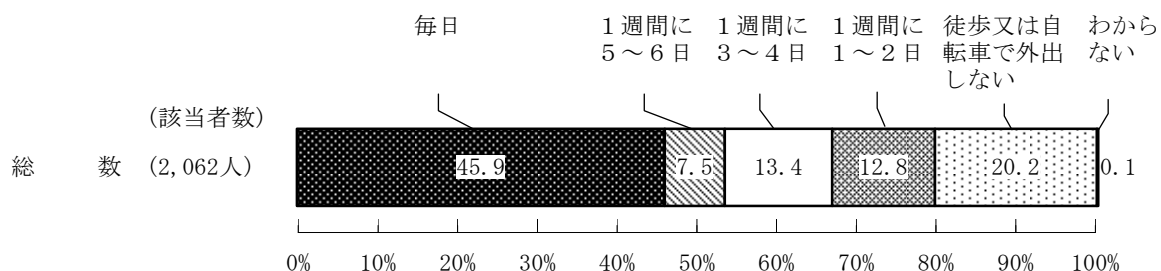
ア 徒歩又は自転車での外出の頻度 (Q31)

徒歩又は自転車による外出の頻度についてみると、「毎日」が45.9%と最も高く、「1週間に3～4日」が13.4%、「1週間に1～2日」が12.8%、「1週間に5～6日」が7.5%の順となっている。

なお、「徒歩又は自転車以外で外出しない」*は20.2%となっている。

*「1週間に1回未満」外出する人も含まれる。

図 12 - 2 徒歩又は自転車での外出の頻度 (Q31)



都市規模別にみると、大都市は「毎日」外出する人が半数以上と高くなっている。年齢階級別にみると、65歳以上は年齢階級が下がるほど「毎日」が高くなっている。健康状態別にみると、「毎日」は健康状態が良いほど割合が高く、良い人では半数を超えている。一方、良くない人は「徒歩又は自転車以外で外出しない」割合が4割に達している。

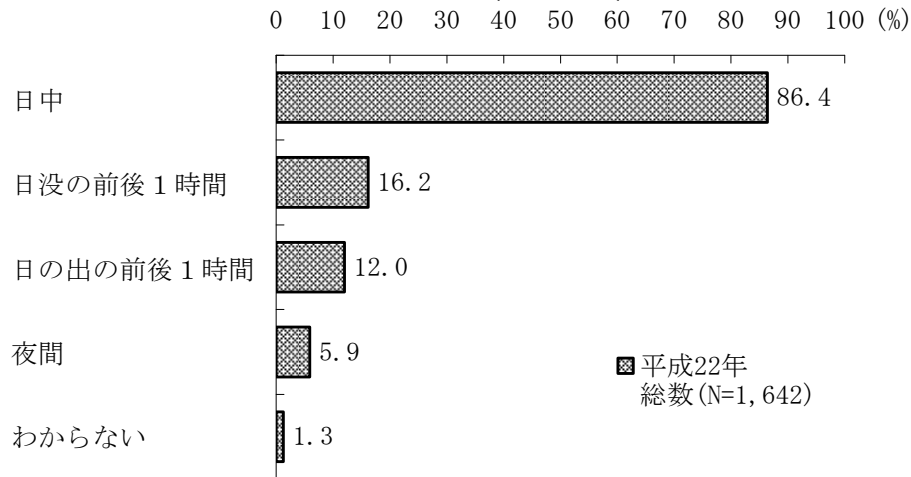
表 12 - 2 徒歩又は自転車での外出の頻度

	総数	毎日	1週間に5～6日	1週間に3～4日	1週間に1～2日	徒歩又は自転車以外で外出しない	わからぬ
【総数】	2062	45.9	7.5	13.4	12.8	20.2	0.1
【都市規模別】							
大都市	472	51.7	8.3	14.8	14.0	11.0	0.2
中都市	867	44.6	7.7	13.0	11.9	22.5	0.2
小都市	522	42.3	7.7	13.2	13.4	23.4	-
町村	201	47.3	4.0	12.4	12.4	23.9	-
【性別】							
男性	979	47.1	7.3	10.6	13.5	21.5	0.1
女性	1083	44.9	7.7	16.0	12.2	19.1	0.2
【年齢階級別】							
60～64歳	574	43.9	7.3	10.3	13.9	24.4	0.2
65～69歳	500	50.8	7.0	15.2	9.4	17.6	-
70～74歳	457	49.0	8.3	12.3	14.2	16.2	-
75～79歳	322	42.2	5.9	17.1	14.0	20.5	0.3
80～84歳	147	38.8	12.2	17.0	12.2	19.7	-
85歳以上	62	38.7	3.2	9.7	14.5	32.3	1.6
【家族形態別】							
単身世帯	237	49.4	6.3	15.6	14.8	13.9	-
夫婦二人世帯	739	47.9	7.6	13.1	12.4	18.8	0.1
本人と子の世帯	548	45.1	8.4	12.2	12.8	21.5	-
本人と子と孫の世帯	209	38.8	9.1	15.3	13.4	23.0	0.5
その他	329	45.0	5.5	13.4	11.9	24.0	0.3
【健康状態別】							
良い	787	52.4	7.4	11.6	11.6	17.0	0.1
まあ良い	379	47.0	10.6	13.7	12.1	16.4	0.3
普通	533	44.8	7.1	16.5	11.6	19.9	-
あまり良くない	293	34.8	4.8	12.6	18.1	29.7	-
良くない	70	22.9	5.7	12.9	17.1	40.0	1.4
良好 (計)	1166	50.6	8.4	12.3	11.7	16.8	0.2
不良 (計)	363	32.5	5.0	12.7	17.9	31.7	0.3

イ 外出する時間帯（Q31SQ1）

徒歩又は自転車で外出する人（Q31で「毎日」、「1週間に5～6日」、「1週間に3～4日」、「1週間に1～2日」と回答した人をいう。）の外出時間帯についてみると、「日中」が86.4%で圧倒的に割合が高く、以下、大きく差をつけて「日没の前後1時間」が16.2%、「日の出の前後1時間」が12.0%、「夜間」が5.9%の順となっている。

図 12 - 3 外出する時間帯（Q31SQ1）（複数回答）



性別にみると、「日中」は女性で9割に達し、高い割合となっている。一方、「日没の前後1時間」、「日の出の前後1時間」、「夜間」は女性より男性で高くなっている。
年齢階級別にみると、60～64歳は「日没の前後1時間」、「日の出の前後1時間」、「夜間」において、他の年齢階級に比べて割合が高くなっている。

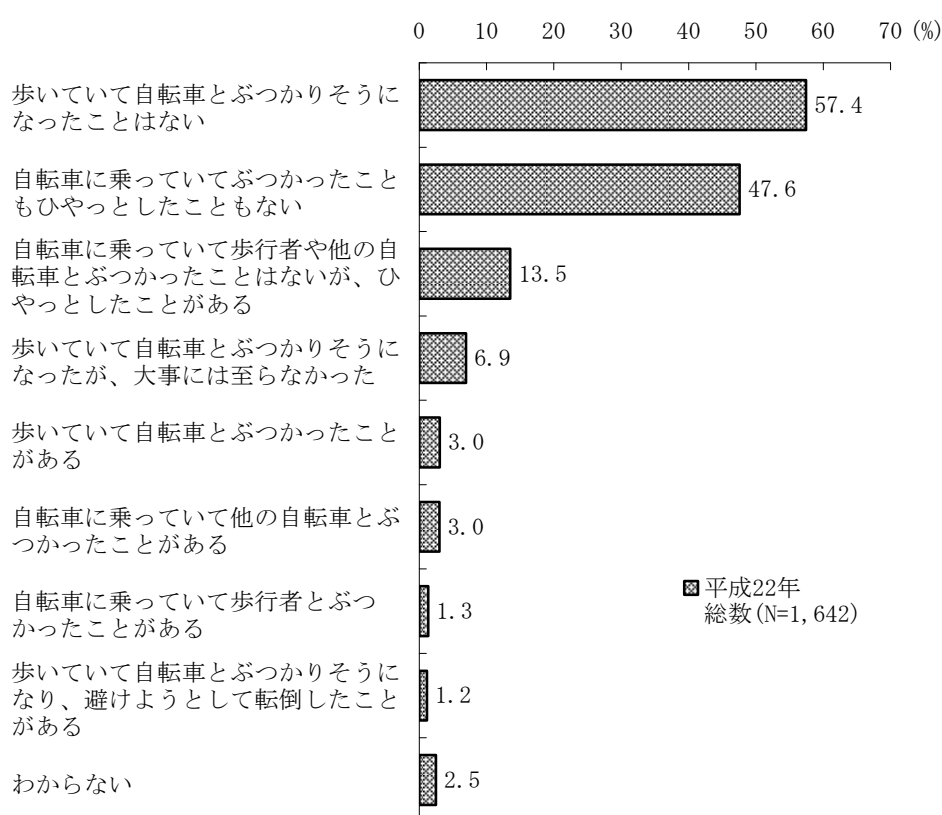
表 12 - 3 外出する時間帯（複数回答）

	該当数	日中	日没の前後1時間	日の出の前後1時間	夜間	わからない	回答計 (%)
【総数】	1642	86.4	16.2	12.0	5.9	1.3	121.8
【都市規模別】							
大都市	419	88.3	16.2	11.0	7.9	1.2	124.6
中都市	670	87.6	16.1	11.5	6.4	1.0	122.7
小都市	400	83.0	17.0	13.3	4.0	1.8	119.0
町村	153	85.0	14.4	13.7	3.3	1.3	117.6
【性別】							
男性	768	82.2	19.5	16.0	7.7	1.2	126.6
女性	874	90.2	13.3	8.5	4.3	1.4	117.6
【年齢階級別】							
60～64歳	433	82.4	21.5	15.9	10.6	0.9	131.4
65～69歳	412	84.0	19.4	14.3	7.0	1.9	126.7
70～74歳	383	88.8	11.7	10.2	3.1	1.6	115.4
75～79歳	255	91.0	14.5	5.9	2.7	0.4	114.5
80～84歳	118	90.7	5.9	11.0	2.5	0.8	111.0
85歳以上	41	90.2	9.8	4.9	-	2.4	107.3
【家族形態別】							
単身世帯	204	89.2	13.2	9.8	6.4	0.5	119.1
夫婦二世帯	599	86.0	17.0	12.2	5.2	1.3	121.7
本人と子の世帯	430	86.5	17.7	11.2	7.2	0.9	123.5
本人と子と孫の世帯	160	85.0	8.8	13.1	1.3	3.1	111.3
その他	249	85.9	18.9	14.1	8.0	1.2	128.1
【健康状態別】							
良い	652	84.8	16.1	15.6	5.5	1.2	123.3
まあ良い	316	85.4	20.9	12.3	6.3	1.3	126.3
普通	427	87.6	16.6	8.4	8.7	1.4	122.7
あまり良くない	206	89.3	9.2	8.7	1.5	1.5	110.2
良くない	41	92.7	12.2	4.9	2.4	-	112.2
良好（計）	968	85.0	17.7	14.6	5.8	1.2	124.3
不良（計）	247	89.9	9.7	8.1	1.6	1.2	110.5

ウ 徒歩又は自転車で外出した際の事故の有無（Q31SQ2）

徒歩又は自転車で外出した際の事故にあった経験についてみると、「歩いていて自転車とぶつかりそうになったことはない」が57.4%、「自転車に乗っていてぶつかったこともひやとしたこともない」が47.6%となっている。事故にあったり、事故の危険があった人の中では、「自転車に乗っていて歩行者や他の自転車とぶつかったことはないが、ひやとしたことがある」が13.5%、「歩いていて自転車とぶつかりそうになったが、大事には至らなかった」が6.9%、「歩いていて自転車とぶつかったことがある」と「自転車に乗っていて他の自転車とぶつかったことがある」がいずれも3.0%の順となっている。

図12-4 徒歩又は自転車で外出した際の事故の有無（Q31SQ2）（複数回答）



都市規模別にみると、「歩いていて自転車とぶつかりそうになったことはない」は大都市、中都市、小都市では5割台であるのに対し、町村は7割を超えている。

性別にみると、男性は「自転車に乗っていてぶつかったこともひやとしたこともない」が52.3%で半数を超えており、女性の43.4%よりも割合が高い。

年齢階級別にみると、年齢階級が下がるほど「自転車に乗っていてぶつかったこともひやとしたこともない」の割合が高くなり、60歳代では過半数となっている。

表 12 - 4 徒歩又は自転車で外出した際の事故の有無（複数回答） (%)

	該当数	歩いていて自転車とぶつかりそうになったことはない	自転車に乗っていてぶつかったこともひやとしたこともない	自転車に乗っていて歩行者や他の自転車とぶつかったことはないが、ひやとしたことがある	歩いていて自転車とぶつかりそうになったが、大事には至らなかった	歩いていて自転車とぶつかったことがある
【総数】	1642	57.4	47.6	13.5	6.9	3.0
【都市規模別】						
大都市	419	53.7	37.9	13.1	10.0	3.6
中都市	670	58.2	45.5	16.4	7.8	3.1
小都市	400	54.3	58.0	11.5	4.0	2.8
町村	153	72.5	55.6	7.2	2.6	2.0
【性別】						
男性	768	57.9	52.3	11.6	8.3	3.4
女性	874	57.0	43.4	15.2	5.7	2.7
【年齢階級別】						
60～64歳	433	53.3	53.6	14.3	8.1	4.6
65～69歳	412	60.7	51.0	12.1	6.6	1.2
70～74歳	383	55.1	44.9	17.0	6.5	3.4
75～79歳	255	60.0	43.5	12.5	7.5	2.7
80～84歳	118	63.6	38.1	7.6	5.9	3.4
85歳以上	41	56.1	26.8	9.8	2.4	2.4
【家族形態別】						
単身世帯	204	57.4	38.7	12.7	9.3	3.4
夫婦二世帯	599	56.1	46.9	13.5	7.0	4.2
本人と子の世帯	430	55.8	46.0	13.3	7.4	2.8
本人と子と孫の世帯	160	58.1	53.1	19.4	5.0	1.3
その他	249	63.1	55.4	10.8	5.2	1.6
【健康状態別】						
良い	652	57.5	52.0	12.9	7.1	2.9
まあ良い	316	55.4	46.2	13.3	7.0	3.2
普通	427	57.4	45.2	14.5	7.7	2.8
あまり良くない	206	60.2	41.3	15.5	3.4	3.9
良くない	41	58.5	43.9	4.9	14.6	2.4
良好（計）	968	56.8	50.1	13.0	7.0	3.0
不良（計）	247	59.9	41.7	13.8	5.3	3.6

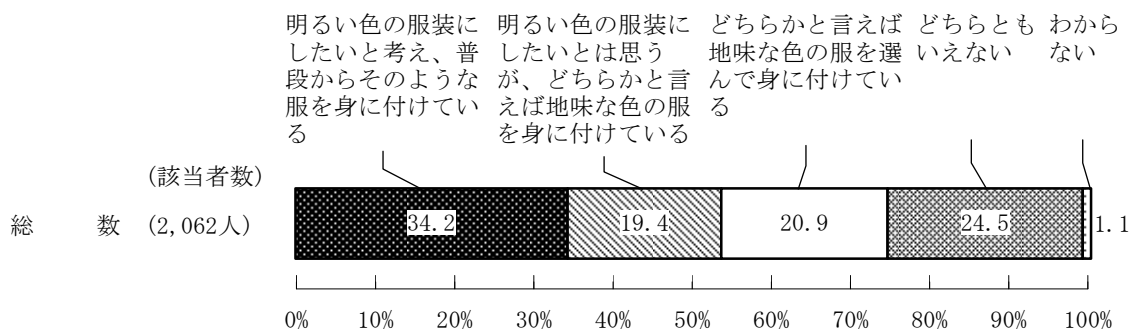
(%)

(続き)	自転車に乗って いて他の自 転車とぶつ かったこと がある	自転車に乗 って歩いて 歩行者とぶ つかったこ とがある	歩いていて 自 転車とぶつ かりそうに なり、避け ようとして 転倒したこ とがある	わからない	回答計
【 総 数 】	3.0	1.3	1.2	2.5	136.5
【都市規模別】					
大都市	3.6	2.4	1.0	2.6	127.9
中都市	3.9	1.0	1.6	2.7	140.3
小都市	1.8	1.3	0.8	1.0	135.3
町村	0.7	-	0.7	5.2	146.4
【性別】					
男性	2.5	0.9	1.0	2.0	140.0
女性	3.4	1.7	1.3	3.0	133.4
【年齢階級別】					
60～64歳	2.5	0.9	1.6	2.5	141.6
65～69歳	3.2	1.5	1.5	2.4	140.0
70～74歳	3.7	1.6	0.8	2.3	135.2
75～79歳	3.1	1.6	0.8	2.0	133.7
80～84歳	2.5	1.7	0.8	2.5	126.3
85歳以上	-	-	-	7.3	104.9
【家族形態別】					
単身世帯	2.5	1.0	1.0	2.5	128.4
夫婦二世帯	3.2	1.3	1.2	2.7	136.1
本人と子の世帯	3.0	2.1	1.9	3.0	135.3
本人と子と孫の世帯	3.1	1.9	-	0.6	142.5
その他	2.8	-	0.8	2.4	142.2
【健康状態別】					
良い	3.2	0.5	1.1	2.8	139.9
まあ良い	4.7	1.6	0.9	2.5	134.8
普通	1.2	2.1	1.4	2.3	134.7
あまり良くない	2.9	1.9	1.5	1.9	132.5
良くない	4.9	2.4	-	2.4	134.1
良好 (計)	3.7	0.8	1.0	2.7	138.2
不良 (計)	3.2	2.0	1.2	2.0	132.8

(3) 服装に対する意識 (Q32)

自分が着用する服装への意識についてみると、「明るい色の服装にしたいと考え、普段からそのような服を身に付けている」が34.2%と最も高く、次いで、「どちらかと言えば地味な色の服を選んで身に付けている」(20.9%)と「明るい色の服装にしたいとは思いますが、どちらかと言えば地味な色の服を身に付けている」(19.4%)が約2割で続く。なお、「どちらともいえない」は24.5%である。

図12-5 服装に対する意識 (Q32)



性別にみると、女性は「明るい色の服装にしたいと考え、普段からそのような服を身に付けている」が4割以上と高くなっている。一方、男性は「どちらともいえない」が29.3%、「どちらかと言えば地味な色の服を選んで身に付けている」が25.6%で、いずれも女性を上回っている。

年齢階級別にみると、70～74歳は「明るい色の服装にしたいと考え、普段からそのような服を身に付けている」が4割に達している。

表 12 - 5 服装に対する意識

(%)

	総数	明るい色の服装にしたいと考え、普段からそのような服を身に付けている	明るい色の服装にしたいとは思いますが、どちらかと言えば地味な色の服を身に付けている	どちらかと言えば地味な色の服を選んで身に付けている	どちらともいえない	わからない
【 総 数 】	2062	34.2	19.4	20.9	24.5	1.1
【都市規模別】						
大都市	472	34.7	19.1	16.5	28.6	1.1
中都市	867	34.5	19.1	22.8	22.6	0.9
小都市	522	35.4	19.5	21.8	22.8	0.4
町村	201	28.4	20.4	20.4	27.4	3.5
【性別】						
男性	979	26.6	17.4	25.6	29.3	1.1
女性	1083	41.1	21.1	16.6	20.1	1.0
【年齢階級別】						
60～64歳	574	30.8	20.6	19.0	28.7	0.9
65～69歳	500	36.6	20.8	19.2	22.8	0.6
70～74歳	457	40.0	17.5	18.6	23.0	0.9
75～79歳	322	32.6	19.6	23.9	23.3	0.6
80～84歳	147	26.5	18.4	30.6	21.8	2.7
85歳以上	62	29.0	11.3	30.6	22.6	6.5
【家族形態別】						
単身世帯	237	34.6	19.0	21.1	22.4	3.0
夫婦二世帯	739	36.3	19.5	17.7	25.7	0.8
本人と子の世帯	548	34.9	18.8	22.3	23.4	0.7
本人と子と孫の世帯	209	31.1	20.1	25.8	21.5	1.4
その他	329	30.1	19.8	22.5	27.1	0.6
【健康状態別】						
良い	787	41.3	17.0	18.7	22.7	0.3
まあ良い	379	31.1	20.3	20.1	27.2	1.3
普通	533	31.5	22.9	21.4	23.3	0.9
あまり良くない	293	25.9	18.8	26.3	27.3	1.7
良くない	70	25.7	15.7	24.3	27.1	7.1
良好（計）	1166	38.0	18.1	19.1	24.2	0.6
不良（計）	363	25.9	18.2	25.9	27.3	2.8
【身体の状態別】						
手の不自由さを感じる	124	26.6	14.5	25.8	29.0	4.0
足に不自由さを感じる	343	30.3	18.1	28.0	20.7	2.9
目に不自由さを感じる	227	30.0	17.2	26.0	23.8	3.1
耳に不自由さを感じる	190	29.5	14.7	29.5	25.3	1.1
特に不自由さは感じない	1449	35.2	19.7	19.0	25.5	0.6

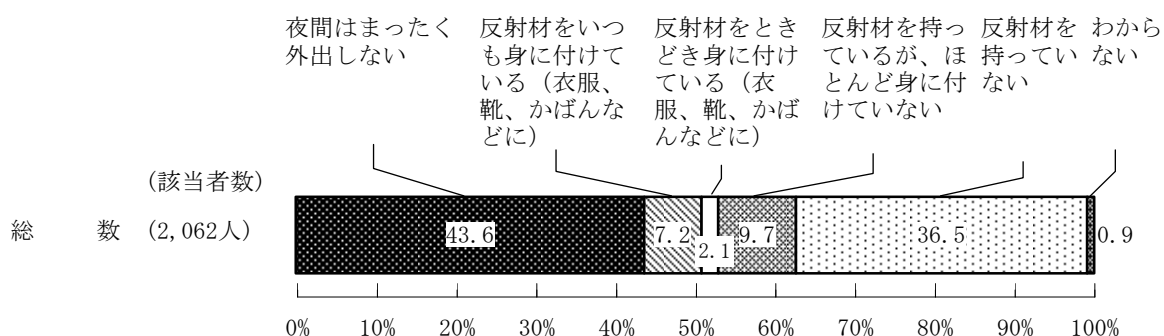
(4) 反射材の着用等 (Q33)

薄暗い時や夜間に外出する場合の反射材の着用についてみると、「夜間はまったく外出しない」が43.6%と4割以上を占めている。

夜間外出をする人では、「反射材を持っていない」人が36.5%と最も割合が高く、次いで、「反射材を持っているが、ほとんど身に付けていない」が9.7%、「反射材をいつも身に付けている(衣服、靴、かばんなどに)」が7.2%、「反射材をときどき身に付けている(衣服、靴、かばんなどに)」が2.1%の順となっている。

いつも又はときどき身に付けている人は1割に満たない。

図 12 - 6 反射材の着用等 (Q33)



都市規模別にみると、都市規模が大きくなるほど「反射材を持っていない」割合が高くなり、大都市では半数に近い。一方、「反射材をいつも身に付けている(衣服、靴、かばんなどに)」は都市規模が小さいほど割合が高く、町村では1割に達している。また、町村では「反射材を持っているが、ほとんど身に付けていない」も他の都市規模に比べて高くなっている。

性別にみると、男性は「反射材を持っていない」割合が4割を超えているが、身に付けている人も1割を上回っている。

年齢階級別にみると、「反射材を持っていない」人は年齢階級が下がるほど割合が高く、60～64歳では半数を超えている。いつも身に付けている人は70～74歳で1割を超えている。

表 12 - 6 反射材の着用等

(%)

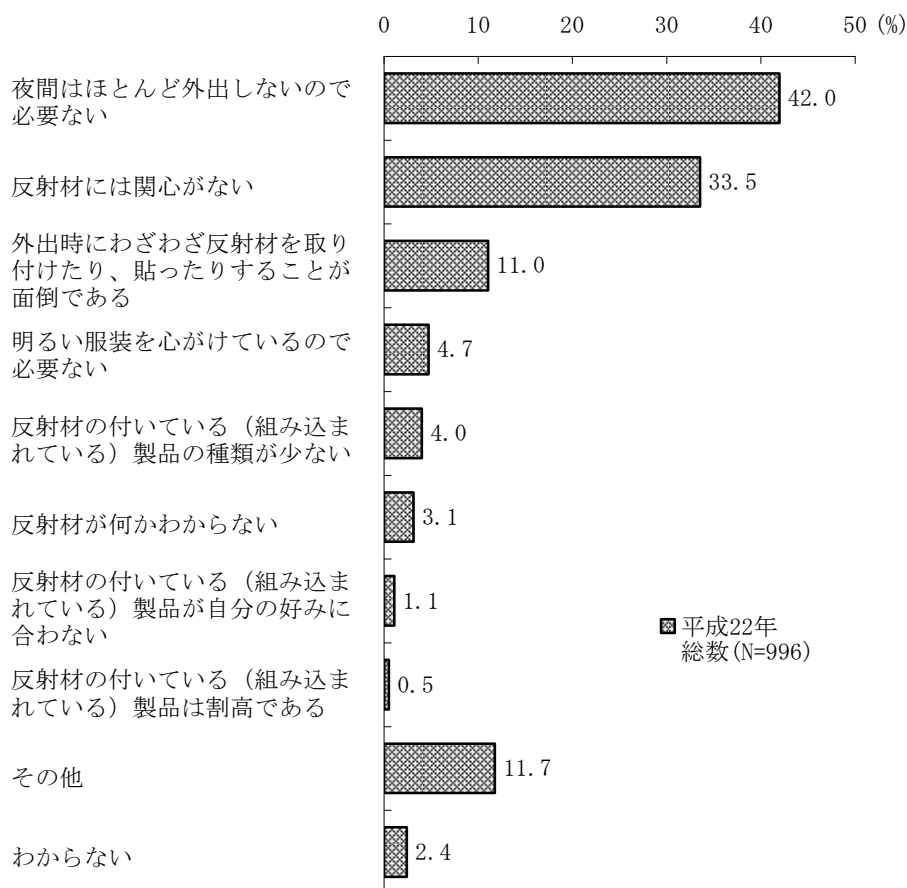
	総数	夜間はま ったく外 出しない	反射材を いつも身 に付けて いる	反射材を ときどき 身に付け ている	反射材を 持っている が、ほとん ど身に付け ていない	反射材を 持って いない	わから ない
【 総 数 】	2062	43.6	7.2	2.1	9.7	36.5	0.9
【都市規模別】							
大都市	472	35.0	3.8	1.3	10.2	48.5	1.3
中都市	867	46.1	6.7	1.8	8.1	36.2	1.0
小都市	522	46.6	9.6	3.4	10.0	30.3	0.2
町村	201	45.8	10.9	1.5	15.4	25.4	1.0
【性別】							
男性	979	34.2	8.4	2.8	11.2	42.5	0.9
女性	1083	52.2	6.1	1.5	8.4	31.0	0.8
【年齢階級別】							
60～64歳	574	28.7	5.4	2.8	10.3	52.1	0.7
65～69歳	500	37.2	7.8	1.4	12.0	40.8	0.8
70～74歳	457	47.0	10.9	2.0	8.8	30.6	0.7
75～79歳	322	55.9	6.8	2.5	9.0	24.8	0.9
80～84歳	147	70.7	3.4	2.0	7.5	15.0	1.4
85歳以上	62	80.6	1.6	-	3.2	11.3	3.2
【家族形態別】							
単身世帯	237	56.1	6.8	2.1	7.2	26.2	1.7
夫婦二世帯	739	40.2	8.0	1.4	10.6	38.8	1.1
本人と子の世帯	548	42.7	7.8	2.7	8.0	38.1	0.5
本人と子と孫の世帯	209	50.2	6.2	2.4	13.9	26.8	0.5
その他	329	39.8	5.2	2.4	10.0	41.9	0.6
【健康状態別】							
良い	787	35.7	9.0	3.2	11.7	39.8	0.6
まあ良い	379	42.0	6.6	1.6	12.7	36.7	0.5
普通	533	43.0	7.3	1.7	7.7	39.2	1.1
あまり良くない	293	62.1	3.8	1.0	6.1	26.3	0.7
良くない	70	70.0	2.9	-	2.9	20.0	4.3
良好（計）	1166	37.7	8.2	2.7	12.0	38.8	0.6
不良（計）	363	63.6	3.6	0.8	5.5	25.1	1.4
【身体の状態別】							
手の不自由さを感じる	124	65.3	4.0	0.8	6.5	21.0	2.4
足に不自由さを感じる	343	63.8	5.8	0.3	4.7	23.9	1.5
目に不自由さを感じる	227	55.1	7.0	1.8	6.6	28.6	0.9
耳に不自由さを感じる	190	57.9	6.8	-	8.4	26.3	0.5
特に不自由さは感じない	1449	38.9	7.5	2.6	10.6	39.6	0.9

(5) 反射材非着用の理由 (Q33SQ)

夜間外出をすることがある人のうち、反射材をときどき身に付けている、持っていても身に付けていない、また、反射材を持っていない人 (Q33で「反射材をときどき身に付けている (衣服、靴、かばんなどに)」、「反射材を持っているが、ほとんど身に付けていない」、「反射材を持っていない」と回答した人をいう。) の反射材非着用の理由についてみると、「夜間はほとんど外出しないので必要ない」が42.0%と最も高く、次いで、「反射材には関心がない」が33.5%、「外出時にわざわざ反射材を取り付けたり、貼ったりすることが面倒である」が11.0%、「明るい服装を心がけているので必要ない」が4.7%、「反射材の付いている (組み込まれている) 製品の種類が少ない」が4.0%、「反射材が何かわからない」が3.1%の順となっている。

なお、「その他」の理由をみると、「外出時は車を利用する」、「必要性を感じない」といった理由が多く挙げられている。

図12-7 反射材非着用の理由 (Q33SQ) (複数回答)



都市規模別にみると、大都市で「反射材には関心がない」が4割に達している。

家族形態別にみると、本人と子と孫の世帯で「夜間はほとんど外出しないので必要ない」が過半数と高くなっている。

表 12 - 7 反射材非着用の理由（複数回答）

(%)

	該当数	夜間はほとんど外出しないので必要ない	反射材には関心がない	外出時にわざわざ反射材を取り付けたたり、貼ったりすることが面倒である	明るい服装を心がけているので必要ない	反射材の付いている製品の種類が少ない	反射材が何かわからない
【総数】	996	42.0	33.5	11.0	4.7	4.0	3.1
【都市規模別】							
大都市	283	35.3	41.0	8.8	5.3	4.6	5.3
中都市	400	42.0	34.0	11.8	5.0	3.5	3.0
小都市	228	47.8	24.6	13.2	3.9	3.5	0.9
町村	85	48.2	30.6	9.4	3.5	5.9	2.4
【性別】							
男性	553	37.4	36.0	12.3	4.7	4.7	2.9
女性	443	47.6	30.5	9.5	4.7	3.2	3.4
【年齢階級別】							
60～64歳	374	33.7	35.8	14.2	5.1	5.6	1.9
65～69歳	271	40.2	34.7	10.0	5.5	3.7	3.3
70～74歳	189	50.8	31.2	9.0	3.7	3.7	2.1
75～79歳	117	48.7	34.2	9.4	4.3	0.9	5.1
80～84歳	36	63.9	13.9	5.6	2.8	2.8	11.1
85歳以上	9	77.8	22.2	-	-	-	11.1
【家族形態別】							
単身世帯	84	39.3	34.5	8.3	1.2	7.1	4.8
夫婦二世帯	375	40.8	36.0	13.1	4.8	3.5	3.7
本人と子の世帯	268	41.4	32.5	9.3	5.6	4.9	2.2
本人と子と孫の世帯	90	57.8	27.8	7.8	3.3	4.4	1.1
その他	179	38.5	32.4	12.3	5.6	2.2	3.4
【健康状態別】							
良い	430	38.6	37.2	12.6	5.3	4.9	2.3
まあ良い	193	40.9	32.6	9.3	5.7	1.6	3.6
普通	259	42.1	30.5	10.8	3.1	4.2	4.2
あまり良くない	98	56.1	26.5	10.2	5.1	5.1	2.0
良くない	16	56.3	37.5	-	-	-	6.3
良好（計）	623	39.3	35.8	11.6	5.5	3.9	2.7
不良（計）	114	56.1	28.1	8.8	4.4	4.4	2.6
【身体の状況別】							
手の不自由さを感じる	35	62.9	25.7	-	5.7	-	2.9
足に不自由さを感じる	99	51.5	29.3	9.1	3.0	2.0	3.0
目に不自由さを感じる	84	47.6	35.7	11.9	1.2	4.8	3.6
耳に不自由さを感じる	66	51.5	24.2	12.1	6.1	1.5	3.0
特に不自由さは感じない	765	39.7	34.6	11.1	5.1	4.3	3.1

(%)

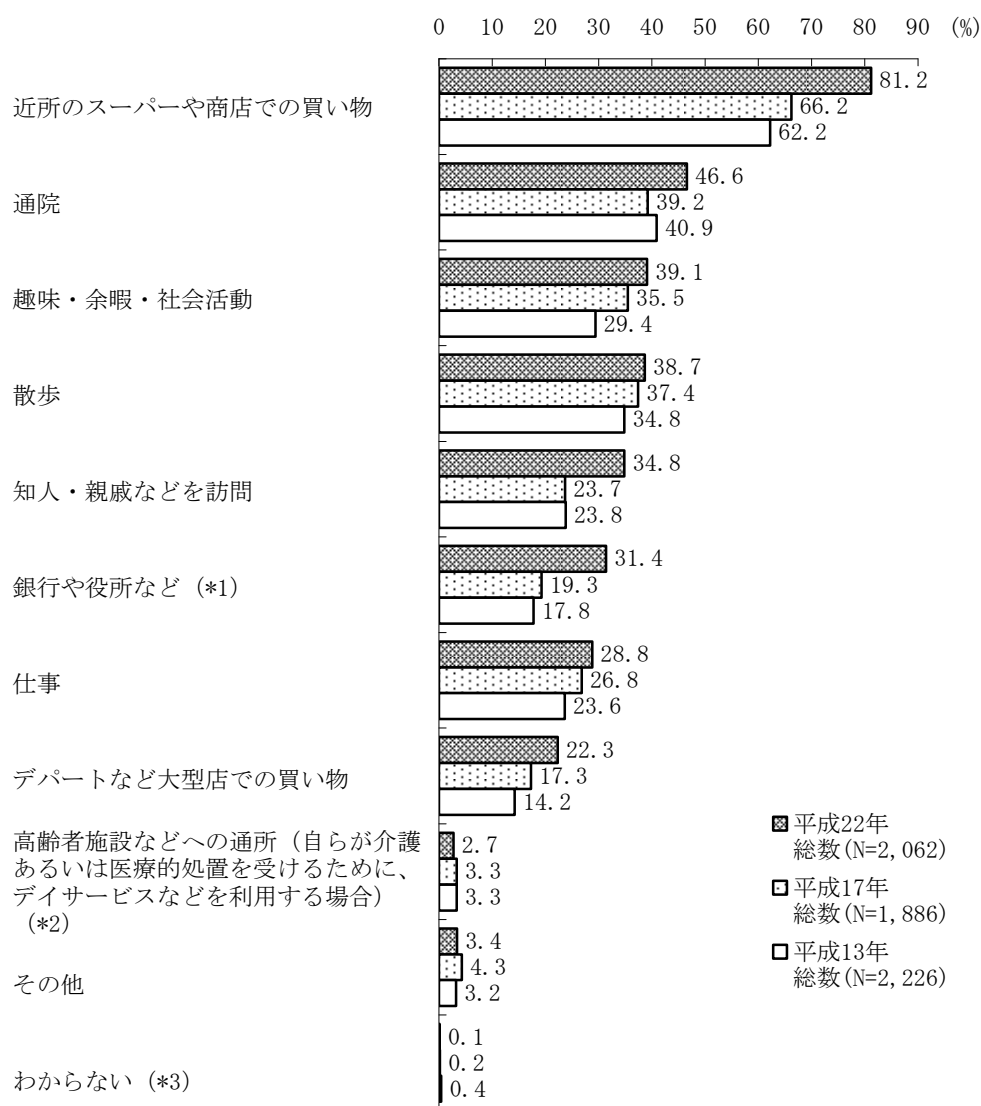
(続き)	反射材の付 いている製 品が自分の 好みに合わ ない	反射材の付 いている製 品は割高で ある	その他	わから ない	回答計
【総数】	1.1	0.5	11.7	2.4	114.2
【都市規模別】					
大都市	2.5	-	8.5	4.9	116.3
中都市	0.5	0.8	12.5	1.0	114.0
小都市	0.9	0.9	15.8	1.8	113.2
町村	-	-	8.2	2.4	110.6
【性別】					
男性	1.4	0.4	11.0	2.9	113.7
女性	0.7	0.7	12.6	1.8	114.7
【年齢階級別】					
60～64歳	1.9	1.1	13.9	2.7	115.8
65～69歳	1.5	-	11.4	2.6	112.9
70～74歳	-	-	12.2	1.1	113.8
75～79歳	-	0.9	6.0	4.3	113.7
80～84歳	-	-	11.1	-	111.1
85歳以上	-	-	-	-	111.1
【家族形態別】					
単身世帯	-	-	14.3	3.6	113.1
夫婦二世帯	1.1	0.8	7.7	1.3	112.8
本人と子の世帯	-	-	14.9	4.5	115.3
本人と子と孫の世帯	1.1	1.1	13.3	-	117.8
その他	3.4	0.6	13.4	2.2	114.0
【健康状態別】					
良い	1.4	0.5	10.9	1.9	115.6
まあ良い	0.5	0.5	14.0	1.6	110.4
普通	1.2	0.4	11.2	4.6	112.4
あまり良くない	1.0	-	12.2	-	118.4
良くない	-	6.3	12.5	6.3	125.0
良好(計)	1.1	0.5	11.9	1.8	114.0
不良(計)	0.9	0.9	12.3	0.9	119.3
【身体の状況別】					
手の不自由さを感じる	-	-	8.6	5.7	111.4
足に不自由さを感じる	-	1.0	9.1	3.0	111.1
目に不自由さを感じる	2.4	-	6.0	2.4	115.5
耳に不自由さを感じる	-	-	9.1	3.0	110.6
特に不自由さは感じない	1.2	0.5	12.4	2.2	114.4

(6) よく出かける時 (Q34)

どんな時によく出かけるかについてみると、「近所のスーパーや商店での買物」が81.2%と最も高く、次いで、「通院」が46.6%、「趣味・余暇・社会活動」が39.1%、「散歩」が38.7%、「知人・親戚などを訪問」が34.8%、「銀行や役所など」が31.4%、「仕事」が28.8%の順となっている。

過去の調査と比較すると、ほとんどの項目が平成13年以降続けて増加しているが、特に、「近所のスーパーや商店での買物」は平成17年より15ポイント増加し、「知人・親戚などを訪問」も11ポイント増加している。

図12-8 よく出かける時 (Q34) (複数回答)



(*1) 平成13年は「銀行や役所など私用」

(*2) 平成13、17年は「高齢者施設などへの通所」

(*3) 平成13、17年は「無回答」

性別にみると、「近所のスーパーや商店での買物」、「通院」、「知人・親戚などを訪問」、「銀行や役所など」、「デパートなど大型店での買い物」は女性の割合が高く、「散歩」及び「仕事」は男性の割合が高い。

年齢階級別にみると、「通院」は60～64歳（30.0%）では3割に過ぎないが、70歳以上では過半数を超え、さらに75歳以上では6割以上となっている。一方、「通院」及び「高齢者施設などへの通所」以外の項目は、総じて低い年齢階級で高い割合を示している。特に「仕事」は、60～64歳（50.9%）で半数に達している。

健康状態別にみると、「近所のスーパーや商店での買物」は健康状態が不良の人では低い割合となっている。「通院」及び「高齢者施設などへの通所」は健康状態が悪いほど割合が高い傾向がみられる。一方、他の項目では、健康状況が良いほど割合が高い傾向を示している。

表 12 - 8 よく出かける時（複数回答）

(%)

	総数	近所のスーパーや商店での買物	通院	趣味・余暇・社会活動	散歩	知人・親戚などを訪問	銀行や役所など
【総数】	2062	81.2	46.6	39.1	38.7	34.8	31.4
【都市規模別】							
大都市	472	83.1	44.1	41.3	40.9	28.4	34.5
中都市	867	81.7	46.6	41.6	38.3	36.2	31.6
小都市	522	78.4	46.7	34.7	35.6	37.7	30.7
町村	201	82.1	51.7	34.3	42.8	36.3	24.9
【性別】							
男性	979	73.5	43.9	39.9	43.6	30.2	26.7
女性	1083	88.1	48.9	38.3	34.2	39.0	35.6
【年齢階級別】							
60～64歳	574	81.7	30.0	40.8	33.8	37.5	34.3
65～69歳	500	83.6	41.2	43.2	40.0	35.2	33.6
70～74歳	457	85.8	54.0	39.8	43.5	38.9	33.7
75～79歳	322	79.8	62.4	38.5	40.4	30.7	27.3
80～84歳	147	70.7	64.6	29.3	37.4	25.9	23.8
85歳以上	62	54.8	62.9	11.3	30.6	19.4	8.1
【家族形態別】							
単身世帯	237	85.2	51.1	41.4	39.7	35.9	38.0
夫婦二世帯	739	83.6	47.5	44.4	42.1	35.3	33.7
本人と子の世帯	548	81.4	44.7	35.6	36.1	32.3	28.8
本人と子と孫の世帯	209	79.9	54.1	30.6	40.2	35.9	26.8
その他	329	73.3	39.5	36.8	33.4	36.5	28.6
【健康状態別】							
良い	787	83.5	29.2	47.3	43.5	40.8	35.8
まあ良い	379	83.4	50.7	40.6	35.6	36.1	33.0
普通	533	84.2	49.7	38.3	39.4	33.6	30.8
あまり良くない	293	72.0	73.4	21.2	31.4	23.5	20.1
良くない	70	58.6	82.9	20.0	25.7	17.1	24.3
良好（計）	1166	83.4	36.2	45.1	40.9	39.3	34.9
不良（計）	363	69.4	75.2	20.9	30.3	22.3	20.9
【外出の頻度別】							
ほとんど毎日	1360	82.6	42.5	42.7	44.3	36.1	33.5
週に4～5日	337	83.7	50.7	42.4	33.2	40.4	35.0
週に2～3日	275	80.4	55.6	28.4	25.5	29.5	24.4
週に1日程度	54	68.5	64.8	7.4	14.8	11.1	7.4
月に2～3日以下	31	32.3	67.7	-	6.5	12.9	6.5

(%)

(続き)	仕事	デパート など大型 店での買 い物	高齢者施 設などへ の通所	その他	わか ら ない	回答計
【総数】	28.8	22.3	2.7	3.4	0.1	329.0
【都市規模別】						
大都市	26.9	25.0	1.5	3.4	0.2	329.2
中都市	26.4	21.5	3.5	3.5	0.2	331.0
小都市	32.8	21.6	2.3	3.8	-	324.3
町村	33.3	20.9	3.5	2.0	-	331.8
【性別】						
男性	39.3	19.0	2.3	3.2	0.1	321.9
女性	19.3	25.2	3.0	3.6	0.2	335.5
【年齢階級別】						
60～64歳	50.9	24.7	1.0	3.0	-	337.6
65～69歳	31.2	26.4	2.2	3.0	-	339.6
70～74歳	19.7	22.5	2.0	2.2	-	342.2
75～79歳	11.8	20.8	3.4	4.0	-	319.3
80～84歳	11.6	7.5	6.1	6.8	0.7	284.4
85歳以上	1.6	6.5	16.1	8.1	3.2	222.6
【家族形態別】						
単身世帯	18.6	16.5	2.5	3.4	0.4	332.5
夫婦二人世帯	26.5	24.9	2.4	2.4	0.1	343.0
本人と子の世帯	31.9	22.6	2.7	3.8	0.2	320.3
本人と子と孫の世帯	24.9	17.2	3.8	3.3	-	316.7
その他	38.6	23.1	2.7	4.9	-	317.3
【健康状態別】						
良い	36.0	27.1	1.4	3.2	-	347.6
まあ良い	28.8	23.0	1.1	3.2	-	335.4
普通	29.6	22.7	2.8	2.3	0.2	333.6
あまり良くない	13.7	11.3	6.5	6.1	0.3	279.5
良くない	5.7	7.1	10.0	4.3	1.4	257.1
良好(計)	33.6	25.7	1.3	3.2	-	343.7
不良(計)	12.1	10.5	7.2	5.8	0.6	275.2
【外出の頻度別】						
ほとんど毎日	36.8	23.6	1.4	3.1	-	346.6
週に4～5日	23.1	26.1	4.2	3.0	-	341.8
週に2～3日	5.5	16.7	7.3	3.6	-	276.7
週に1日程度	-	5.6	3.7	5.6	1.9	190.7
月に2～3日以下	3.2	3.2	3.2	12.9	3.2	151.6

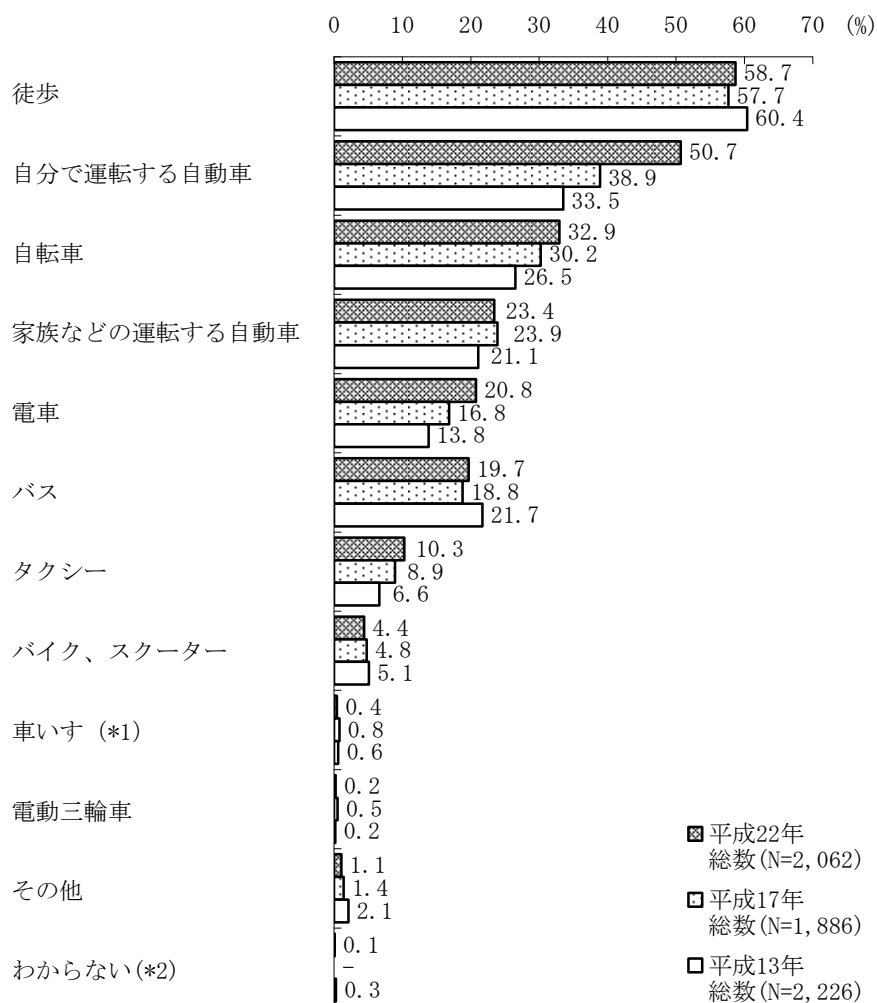
(7) 外出手段

ア 外出手段 (Q35)

外出に利用する手段についてみると、「徒歩」が58.7%と最も高く、次いで、「自分で運転する自動車」が50.7%、「自転車」が32.9%、「家族などの運転する自動車」が23.4%、「電車」が20.8%、「バス」が19.7%の順となっている。

過去の調査と比較すると、「自分で運転する自動車」は平成13年以降続けて増加しているが、特に平成22年調査では増加の割合(約12ポイント)が大きくなっている。

図12-9 外出手段 (Q35) (複数回答)



(*1) 平成7年は「車椅子・電動車椅子」

(*2) 平成13、17年は「無回答」

都市規模別にみると、「徒歩」は大都市(72.2%)で7割を超えている。また、都市規模が大きくなるほど「電車」、「バス」などの公共の交通機関の割合が高くなっている。

一方、「自分で運転する自動車」は都市規模が小さくなるほど割合が高くなっており、「家族などの運転する自動車」も小都市で他の都市規模より割合が高い。

性別にみると、「徒歩」、「家族などの運転する自動車」、「バス」の割合は女性で高い。一方、「自分で運転する自動車」の割合は男性（73.0%）で高く、7割を上回っている。

家族形態別にみると、単身世帯は、他の家族形態に比べ、「徒歩」及び「バス」の割合が高く、「自分で運転する自動車」及び「家族などの運転する自動車」の割合が低くなっている。

健康状態別にみると、「徒歩」、「自分で運転する自動車」、「自転車」、「電車」は健康状態が普通以上の人に比べて、不良の人で普通以上の人より低い割合を示している。「自分で運転する自動車」は健康状態が良いほど割合が高くなる傾向がみられる。一方、「タクシー」は良好な人より不良の人で高い割合となっている。

図 12 - 10 外出手段（都市規模別）（Q35）（複数回答）

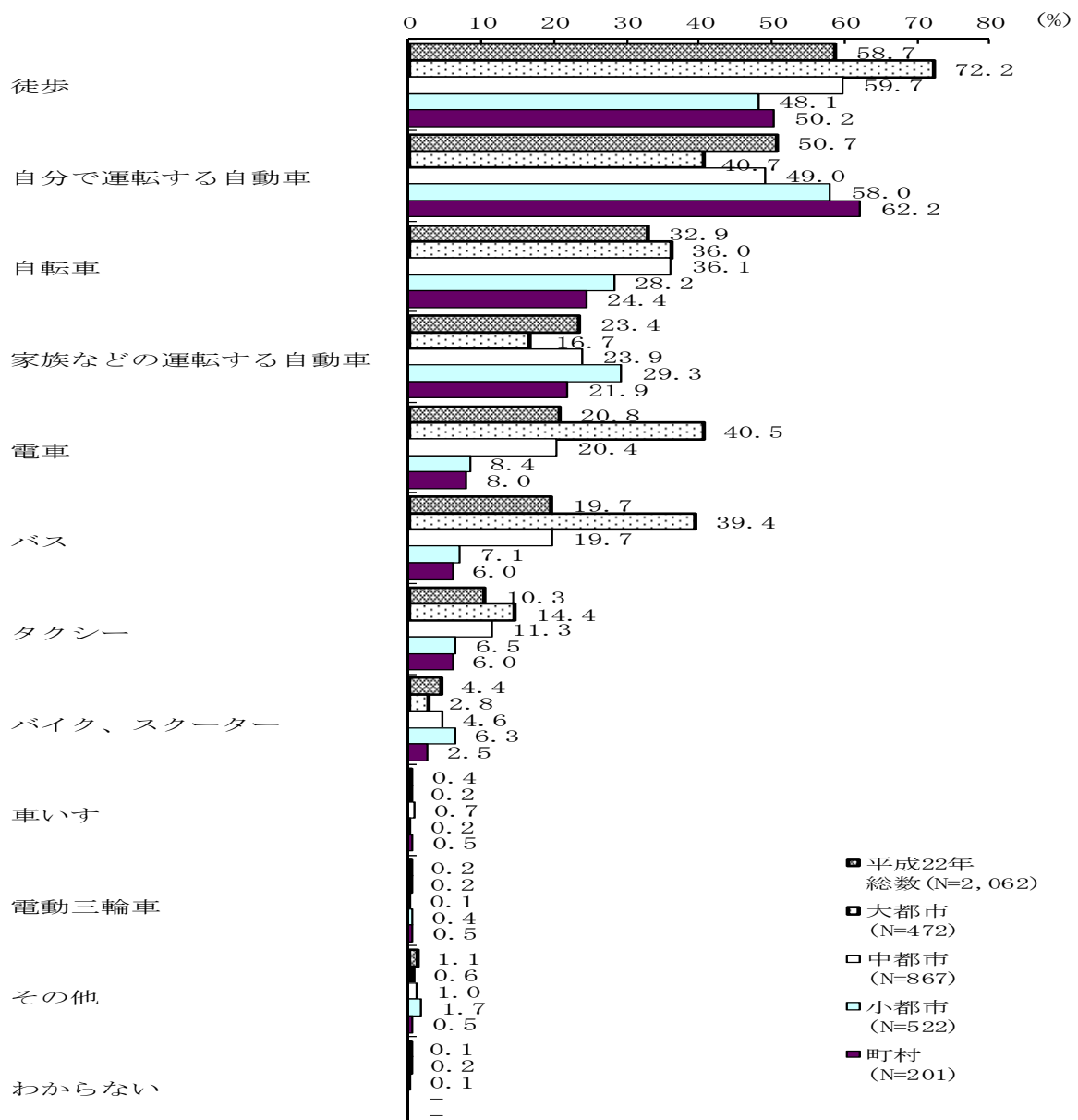


表 12 - 9 外出手段 (複数回答)

(%)

	総数	徒歩	自分で運 転する自 動車	自転車	家族など の運転す る自動車	電車	バス
【総数】	2062	58.7	50.7	32.9	23.4	20.8	19.7
【都市規模別】							
大都市	472	72.2	40.7	36.0	16.7	40.5	39.4
中都市	867	59.7	49.0	36.1	23.9	20.4	19.7
小都市	522	48.1	58.0	28.2	29.3	8.4	7.1
町村	201	50.2	62.2	24.4	21.9	8.0	6.0
【性別】							
男性	979	56.0	73.0	33.8	10.6	18.8	14.7
女性	1083	61.2	30.5	32.1	35.0	22.5	24.2
【年齢階級別】							
60～64歳	574	50.7	70.0	32.8	20.2	23.0	17.8
65～69歳	500	59.2	57.4	37.0	19.4	23.6	18.8
70～74歳	457	62.1	45.3	36.5	26.3	21.2	19.0
75～79歳	322	67.1	34.8	28.6	25.2	19.9	27.3
80～84歳	147	61.9	22.4	27.2	26.5	10.9	20.4
85歳以上	62	53.2	6.5	11.3	48.4	1.6	8.1
【家族形態別】							
単身世帯	237	67.9	28.7	30.8	16.5	19.8	27.0
夫婦二世帯	739	61.2	55.9	32.7	22.1	23.8	21.2
本人と子の世帯	548	56.8	51.3	32.7	25.7	22.4	19.5
本人と子と孫の世帯	209	56.9	46.9	35.9	32.1	14.4	14.8
その他	329	51.1	56.2	33.4	22.2	15.8	14.3
【健康状態別】							
良い	787	59.1	60.4	34.4	20.3	23.0	17.8
まあ良い	379	62.5	45.9	34.8	27.2	24.0	19.3
普通	533	61.2	50.5	35.1	22.9	21.6	24.2
あまり良くない	293	52.2	37.5	27.0	26.3	12.3	17.4
良くない	70	42.9	24.3	14.3	30.0	7.1	18.6
良好 (計)	1166	60.2	55.7	34.6	22.6	23.3	18.3
不良 (計)	363	50.4	35.0	24.5	27.0	11.3	17.6
【外出の頻度別】							
ほとんど毎日	1360	61.5	57.4	35.5	19.0	22.3	18.4
週に4～5日	337	55.5	52.5	27.9	26.7	24.6	25.8
週に2～3日	275	57.1	27.6	33.1	36.4	14.2	23.3
週に1日程度	54	50.0	16.7	20.4	35.2	3.7	5.6
月に2～3日以下	31	9.7	6.5	-	41.9	3.2	6.5

(%)

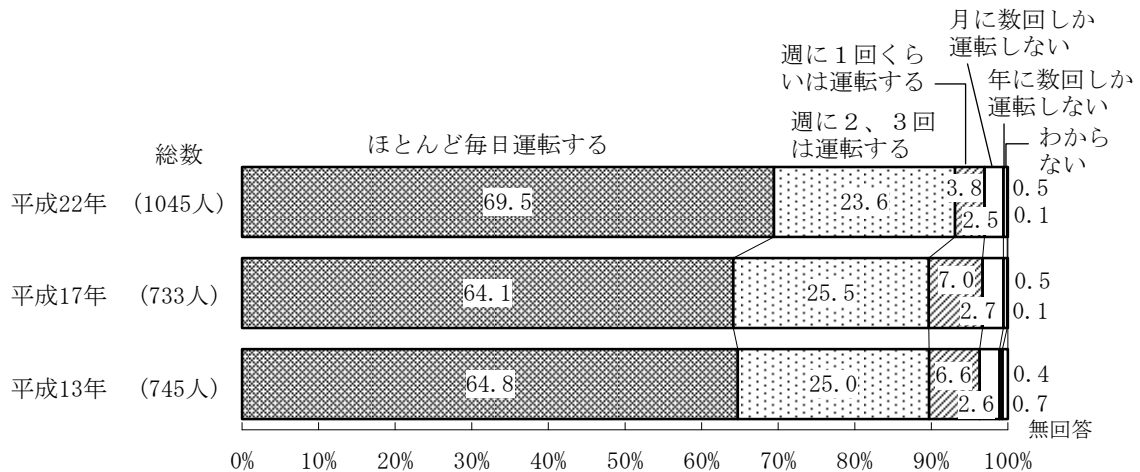
(続き)	タクシー	バイク、 スクーター	車いす	電動 三輪車	その他	わから ない	回答計
【総数】	10.3	4.4	0.4	0.2	1.1	0.1	222.7
【都市規模別】							
大都市	14.4	2.8	0.2	0.2	0.6	0.2	264.0
中都市	11.3	4.6	0.7	0.1	1.0	0.1	226.8
小都市	6.5	6.3	0.2	0.4	1.7	-	194.3
町村	6.0	2.5	0.5	0.5	0.5	-	182.6
【性別】							
男性	8.8	5.2	0.5	0.2	0.8	0.1	222.6
女性	11.6	3.7	0.4	0.3	1.3	0.1	222.9
【年齢階級別】							
60～64歳	8.0	3.5	0.5	0.2	0.2	-	226.8
65～69歳	7.2	5.6	0.2	-	0.4	-	228.8
70～74歳	9.8	4.8	0.2	-	0.4	-	225.8
75～79歳	15.2	3.7	0.6	-	1.9	-	224.2
80～84歳	19.0	4.8	0.7	2.7	5.4	0.7	202.7
85歳以上	12.9	3.2	1.6	-	4.8	1.6	153.2
【家族形態別】							
単身世帯	15.2	4.2	0.4	0.4	1.7	-	212.7
夫婦二世帯	11.0	4.6	0.5	0.3	0.5	0.1	234.0
本人と子の世帯	9.3	4.9	0.5	0.2	0.9	0.2	224.5
本人と子と孫の世帯	6.7	2.9	-	0.5	1.9	-	212.9
その他	9.1	4.3	0.3	-	1.5	-	208.2
【健康状態別】							
良い	7.4	6.0	-	0.1	0.4	-	228.8
まあ良い	11.9	3.4	-	0.5	0.5	-	230.1
普通	8.6	4.5	0.4	0.2	0.9	0.2	230.2
あまり良くない	15.4	2.4	1.4	-	2.4	0.3	194.5
良くない	25.7	-	4.3	1.4	7.1	-	175.7
良好(計)	8.8	5.1	-	0.3	0.4	-	229.2
不良(計)	17.4	1.9	1.9	0.3	3.3	0.3	190.9
【外出の頻度別】							
ほとんど毎日	8.4	5.2	-	0.3	0.5	-	228.5
週に4～5日	11.0	2.1	-	0.3	1.5	-	227.9
週に2～3日	15.3	2.5	2.5	-	2.2	-	214.2
週に1日程度	11.1	5.6	1.9	-	1.9	-	151.9
月に2～3日以下	41.9	9.7	3.2	-	6.5	3.2	132.3

イ 自動車の運転頻度 (Q35SQ1)

自分で自動車を運転する人 (Q35で「自分で運転する自動車」と回答した人をいう。)の運転頻度についてみると、「ほとんど毎日運転する」が69.5%と約7割を占め、「週2、3回は運転する」は23.6%となっている。

過去の調査と比較すると、「ほとんど毎日運転する」は平成17年より増加している。

図12-11 自動車の運転頻度 (Q35SQ1)



都市規模別にみると、都市規模が小さくなるほど「ほとんど毎日運転する」の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、60～64歳で「ほとんど毎日運転する」の割合が高くなっている。

健康状態別にみると、健康状態が良好な人は「ほとんど毎日運転する」の割合が高くなっている。

表12-10 自動車の運転頻度

(%)

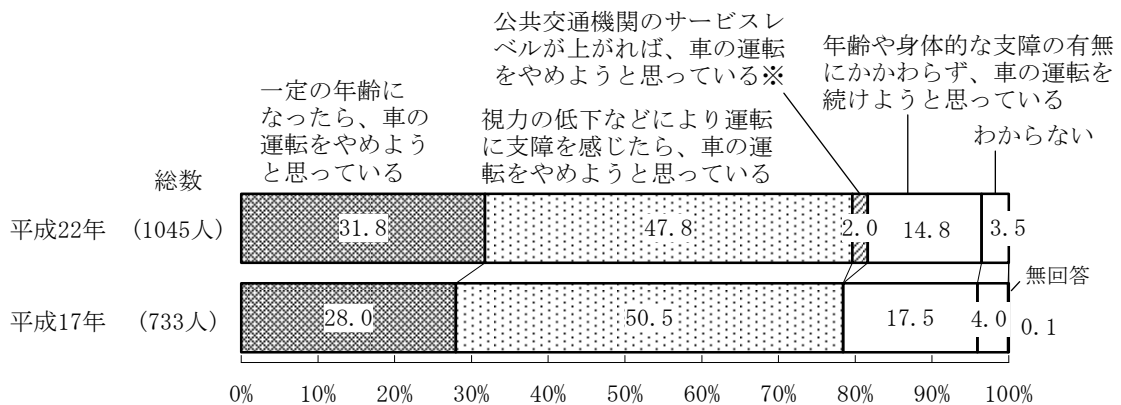
	該当数	ほとんど毎日運転する	週に2、3回は運転する	週に1回くらいは運転する	月に数回しか運転しない	年に数回しか運転しない	わからない
【総数】	1045	69.5	23.6	3.8	2.5	0.5	0.1
【都市規模別】							
大都市	192	55.7	29.2	9.4	4.7	1.0	-
中都市	425	70.1	23.5	3.1	2.4	0.7	0.2
小都市	303	74.6	21.1	2.3	2.0	-	-
町村	125	76.0	21.6	1.6	0.8	-	-
【性別】							
男性	715	69.1	23.9	3.9	2.5	0.6	-
女性	330	70.3	23.0	3.6	2.4	0.3	0.3
【年齢階級別】							
60～64歳	402	75.9	18.2	3.5	2.0	0.5	-
65～69歳	287	66.9	24.7	5.6	2.1	0.3	0.3
70～74歳	207	67.1	26.1	2.9	2.9	1.0	-
75～79歳	112	62.5	31.3	2.7	3.6	-	-
80～84歳	33	51.5	39.4	3.0	6.1	-	-
85歳以上	4	75.0	25.0	-	-	-	-
【家族形態別】							
単身世帯	68	61.8	33.8	2.9	-	1.5	-
夫婦二世帯	413	65.1	27.8	3.6	2.7	0.5	0.2
本人と子の世帯	281	73.0	19.2	4.6	2.5	0.7	-
本人と子と孫の世帯	98	66.3	27.6	4.1	2.0	-	-
その他	185	78.4	15.1	3.2	3.2	-	-
【健康状態別】							
良い	475	73.7	18.1	4.4	2.9	0.6	0.2
まあ良い	174	73.0	21.3	4.6	0.6	0.6	-
普通	269	68.8	26.8	1.9	2.2	0.4	-
あまり良くない	110	49.1	42.7	5.5	2.7	-	-
良くない	17	58.8	29.4	-	11.8	-	-
良好 (計)	649	73.5	19.0	4.5	2.3	0.6	0.2
不良 (計)	127	50.4	40.9	4.7	3.9	-	-
【外出の頻度別】							
ほとんど毎日	781	76.4	17.4	3.6	2.0	0.5	-
週に4～5日	177	72.9	21.5	4.0	1.1	0.6	-
週に2～3日	76	-	89.5	1.3	7.9	-	1.3
週に1日程度	9	-	44.4	44.4	11.1	-	-
月に2～3日以下	2	-	50.0	-	50.0	-	-

ウ 今後の運転に関する意向（Q35SQ2）

自分で自動車を運転する人（Q35で「自分で運転する自動車」と回答した人をいう。）の今後の運転に関する意向についてみると、「視力の低下などにより運転に支障を感じたら、車の運転をやめようと思っている」が47.8%と半数近くを占め、「一定の年齢になったら、車の運転をやめようと思っている」は31.8%となっている。一方、「年齢や身体的な支障の有無にかかわらず、車の運転を続けようと思っている」は14.8%となっている。

前回調査（平成17年）と比較では、新しい選択肢が追加されたため厳密な比較はできないが、「一定の年齢になったら、車の運転をやめようと思っている」はやや増加している。

図12-12 今後の運転に関する意向（Q35SQ2）



（注）※は平成17年調査時に選択肢がなく、データが存在しないもの

都市規模別にみると、「年齢や身体的な支障の有無にかかわらず、車の運転を続けようと思っている」は大都市では10.4%であるが、小都市及び町村では18%程度を占めている。

性別にみると、「一定の年齢になったら、車の運転をやめようと思っている」の割合は女性（37.3%）で高くなっている。

年齢階級別にみると、大きな差はみられない。

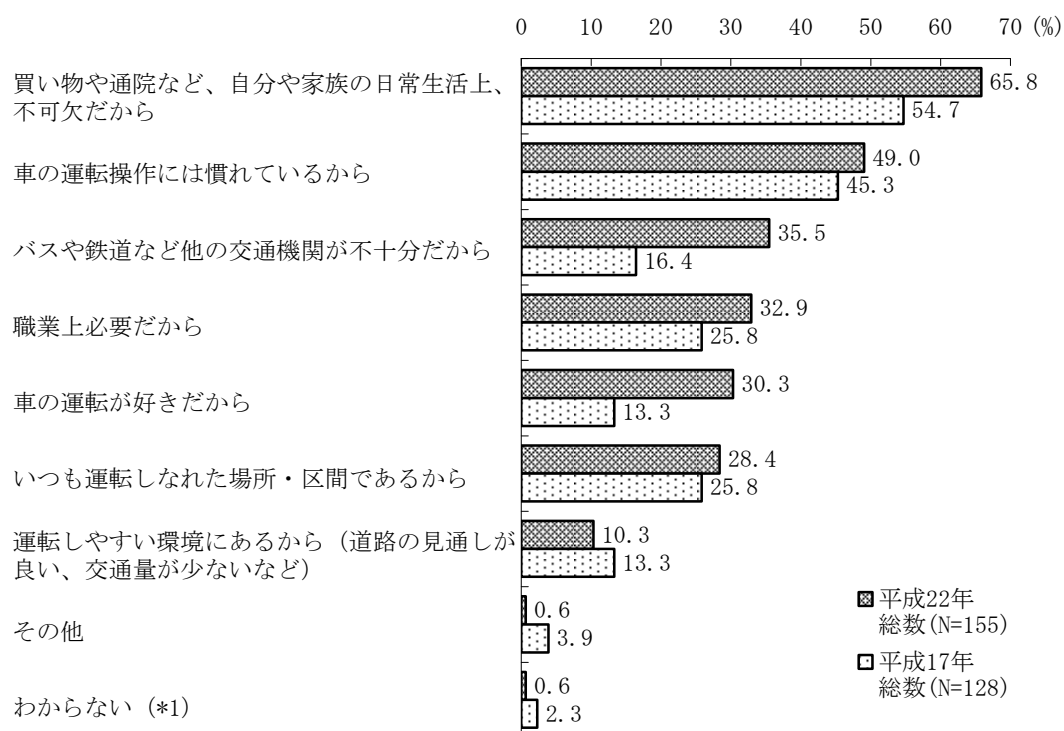
表 12 - 11 今後の運転に関する意向

	該当数	一定の年齢になったら、車の運転をやめようと思っている	視力の低下などにより運転に支障を感じたら、車の運転をやめようと思っている	公共交通機関のサービスレベルが上がれば、車の運転をやめようと思っている	年齢や身体的な支障の有無にかかわらず、車の運転を続けようと思っている	わからない
【総数】	1045	31.8	47.8	2.0	14.8	3.5
【都市規模別】						
大都市	192	34.4	51.6	1.0	10.4	2.6
中都市	425	36.2	44.5	2.8	13.4	3.1
小都市	303	23.4	52.1	2.0	18.2	4.3
町村	125	32.8	43.2	0.8	18.4	4.8
【性別】						
男性	715	29.2	48.8	2.2	15.9	3.8
女性	330	37.3	45.8	1.5	12.4	3.0
【年齢階級別】						
60～64歳	402	30.1	49.8	2.2	13.4	4.5
65～69歳	287	34.8	46.7	2.4	14.3	1.7
70～74歳	207	29.5	48.3	1.4	16.4	4.3
75～79歳	112	33.0	45.5	1.8	16.1	3.6
80～84歳	33	39.4	39.4	-	18.2	3.0
85歳以上	4	-	50.0	-	50.0	-
【家族形態別】						
単身世帯	68	29.4	38.2	4.4	22.1	5.9
夫婦二世帯	413	32.7	47.7	1.5	15.3	2.9
本人と子の世帯	281	29.9	50.2	2.1	14.6	3.2
本人と子と孫の世帯	98	35.7	44.9	2.0	13.3	4.1
その他	185	31.4	49.7	2.2	12.4	4.3
【健康状態別】						
良い	475	30.3	48.2	1.5	15.8	4.2
まあ良い	174	31.6	47.7	2.3	16.1	2.3
普通	269	32.7	50.2	2.2	12.3	2.6
あまり良くない	110	31.8	42.7	3.6	16.4	5.5
良くない	17	58.8	35.3	-	5.9	-
良好(計)	649	30.7	48.1	1.7	15.9	3.7
不良(計)	127	35.4	41.7	3.1	15.0	4.7

エ 運転を続ける理由（Q35SQ3）

今後も運転を続ける意向を持っている人（Q35SQ2で「年齢や身体的な支障の有無にかかわらず、車の運転を続けようと思っている」と回答した人をいう。）の理由についてみると、「買い物や通院など、自分や家族の日常生活上、不可欠だから」が65.8%と最も高く、次いで、「車の運転操作には慣れているから」が49.0%、「バスや鉄道など他の交通機関が不十分だから」が35.5%、「職業上必要だから」が32.9%、「車の運転が好きだから」が30.3%、「いつも運転しなれた場所・区間であるから」が28.4%の順となっている。

図 12 - 13 運転を続ける理由（Q35SQ3）



(*1) 平成17年は「無回答」

都市規模別にみると、都市規模が小さいほど「買い物や通院など、自分や家族の日常生活上、不可欠だから」の割合が高くなっている。

表 12 - 12 運転を続ける理由

(%)

	該当数	買い物や通院など、自分や家族の日常生活上、不可欠だから	車の運転操作には慣れているから	バスや鉄道など他の交通機関が不自由だから	職業上必要だから	車の運転が好きだから
【総数】	155	65.8	49.0	35.5	32.9	30.3
【都市規模別】						
大都市	20	50.0	60.0	15.0	35.0	50.0
中都市	57	63.2	56.1	33.3	31.6	26.3
小都市	55	70.9	38.2	43.6	38.2	29.1
町村	23	73.9	47.8	39.1	21.7	26.1
【性別】						
男性	114	63.2	47.4	36.0	35.1	29.8
女性	41	73.2	53.7	34.1	26.8	31.7
【年齢階級別】						
60～64歳	54	57.4	46.3	31.5	51.9	27.8
65～69歳	41	63.4	51.2	46.3	31.7	34.1
70～74歳	34	76.5	55.9	41.2	17.6	35.3
75～79歳	18	72.2	50.0	16.7	16.7	22.2
80～84歳	6	66.7	16.7	16.7	16.7	16.7
85歳以上	2	100.0	50.0	50.0	-	50.0

	いつも運転しなれた場所・区間であるから	運転しやすい環境にあるから	その他	わからない	回答計
【総数】	28.4	10.3	0.6	0.6	253.5
【都市規模別】					
大都市	25.0	10.0	-	-	245.0
中都市	22.8	5.3	-	-	238.6
小都市	34.5	14.5	1.8	1.8	272.7
町村	30.4	13.0	-	-	252.2
【性別】					
男性	24.6	7.9	-	0.9	244.7
女性	39.0	17.1	2.4	-	278.0
【年齢階級別】					
60～64歳	18.5	5.6	-	1.9	240.7
65～69歳	39.0	9.8	-	-	275.6
70～74歳	29.4	23.5	2.9	-	282.4
75～79歳	33.3	5.6	-	-	216.7
80～84歳	16.7	-	-	-	150.0
85歳以上	50.0	-	-	-	300.0